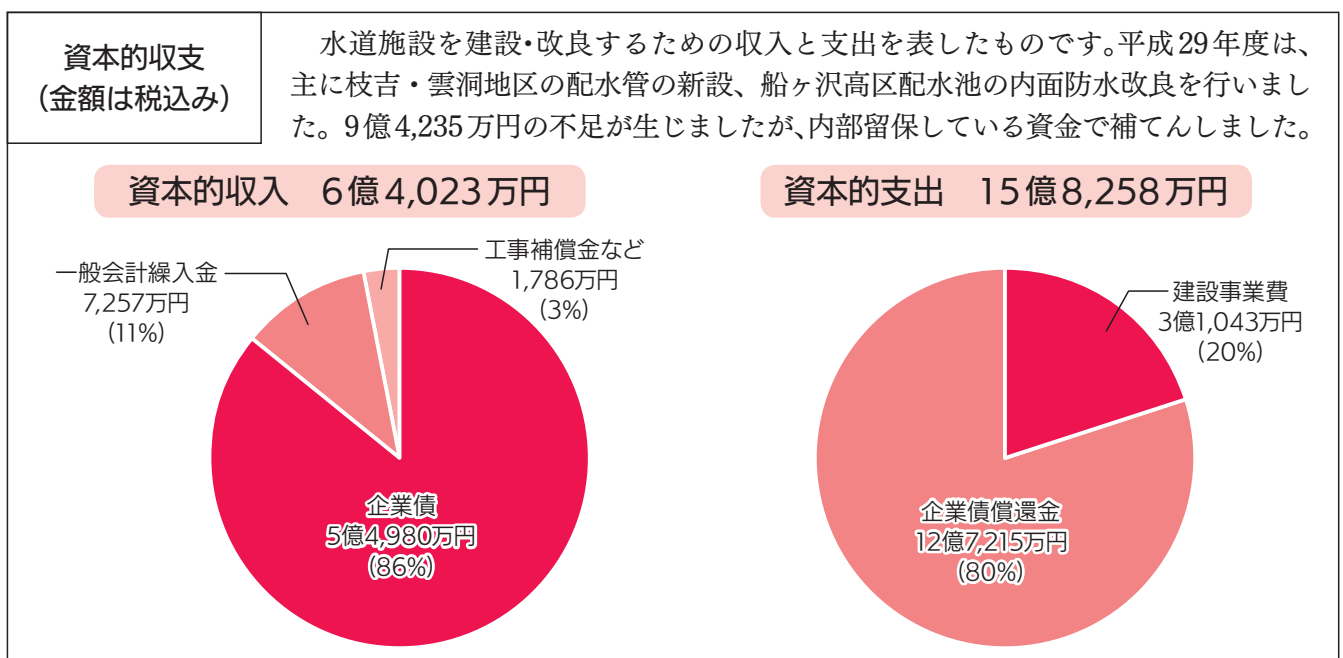
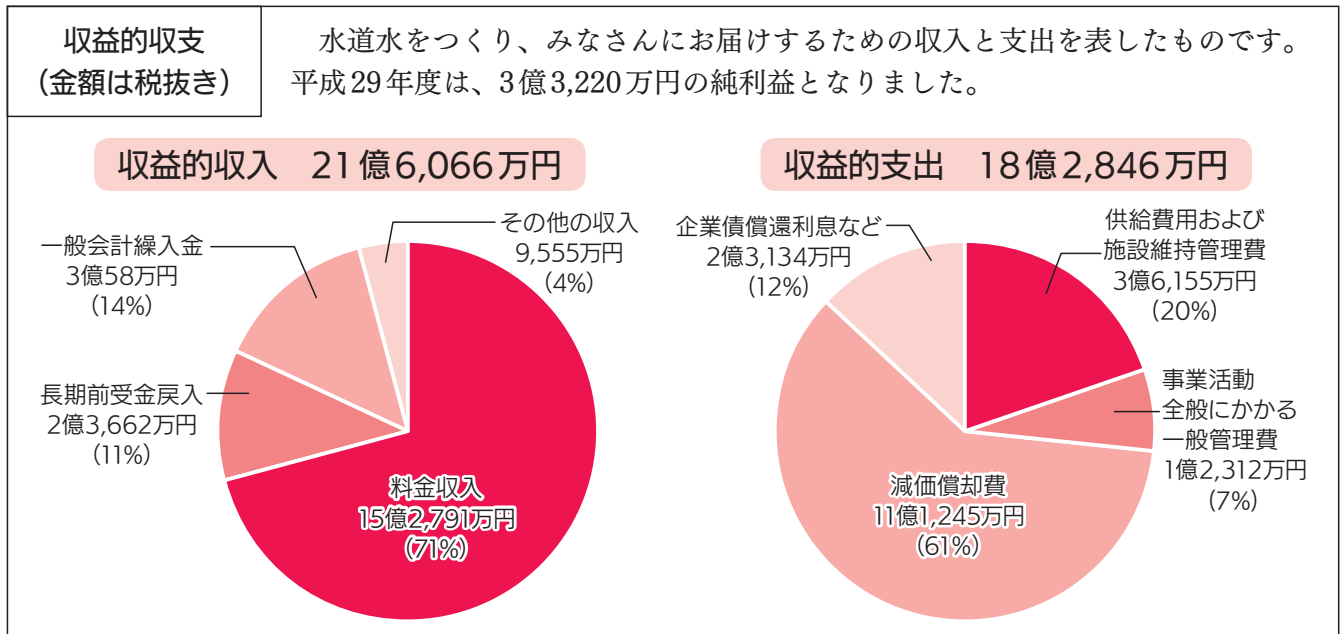


平成29年度水道事業会計決算の概要

水道事業は、公営企業法に基づき独立採算での経営を行うため、収益的収支と資本的収支の2つに分けて予算を管理しています。



水道事業の現状

市の水道事業は、平成17年10月に南魚沼市・塩沢町・魚沼地域広域水道企業団が統合し、現在に至っています。統合直後に214億円あった企業債(借入金)は、平成29年度末で104億円に減少しています。依然として水道料金の収入とほぼ同額の借入金を毎年返済しており、厳しい経営状況が続いています。水道料金の回収率も97%と

低く、一般会計からの繰入金によって黒字を確保している状況です。今後も節水機器の普及や人口減少などに伴う水道使用量および料金収入の減少、水道施設の更新費用の増加が見込まれ、経営環境の厳しさは増すと予測されます。将来の施設更新に備え、内部留保の資金を蓄えるとともに、経営改善に向けて努力していきます。